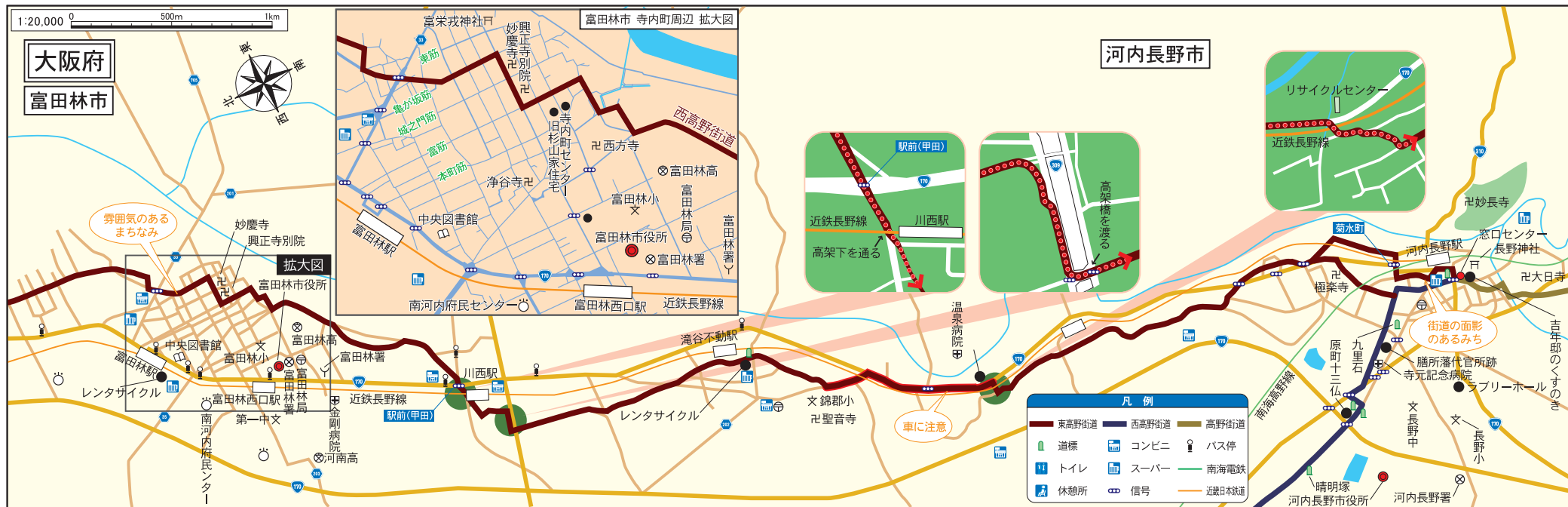


とんだばやし かわちながの
近鉄長野線 富田林駅 (富田林市) ~ 南海高野線 河内長野駅 (河内長野市)

歩行距離 8km
 標準歩行時間 2時間40分
 標準所要時間 5時間20分
(標準所要時間は観光、休憩を含めた時間)

富田林市の寺内町は当時の面影を残しています。街道は妙慶寺の前を通り、折れ曲りながら抜けていきますが、途中、立派な旧杉山家住宅があり、その前に寺内町の情報案内所である寺内町センターがあるので、ゆとりがあれば、町を回遊して見てください。寺内町をあとにし、滝谷不動駅の前を進むと、河内長野市に入ります。もう少しで、長かった東高野街道の終点である河内長野駅前です。



とんだばやしなまち
富田林寺内町

興正寺門跡証秀上人によって創建された興正寺別院を中心とした寺内町として誕生し、商売の盛んな郷町として発展しました。現在も創建当時の六筋七町の町割りや、重要文化財旧杉山家住宅、仲村家住宅など往時の繁栄を偲ぶ重厚な町家が数多く残されています。



きょうぎやまけしゅうたく
旧杉山家住宅

旧杉山家住宅は富田林寺内町でも最古級の町屋建築です。寺内町の創立にも関わったとされる杉山家は、江戸中期以降、造り酒屋として財をなした旧家で、その広大な敷地に主屋、酒蔵、土蔵など十数棟が軒を接して建てられていました。屋敷内部の造りも贅を凝らしたもので、能舞台を模したともいわれる大床の間には狩野派の絵師による老松の絵が描かれ、その奥には茶室も設けられています。一方で、ダイドコ(台所)の北には後世に2階に上がる螺旋階段が設けられ、伝統とモダンが同居した造りとなっています。



にしきおりいちりづか
錦織一里塚

街道沿いに距離を測る目印であったという一里塚が、富田林市と河内長野市との境界近くに残っています。錦織一里塚は、一辺が約9メートルの正方形で、高野山に通じる東高野街道に接して造られています。現在、ここには宝篋印塔と石碑が残され、そのひとつには「承応二年」(1653年)の年号が刻まれているため、この一里塚はこれより以前に造られたと考えられます。

スタート地点までの電車情報

大阪 大塚	近鉄長野線・準急	約30分	富田林西口駅				
大阪 大塚	なんば線	南海高野線・急行	約30分	河内長野駅	近鉄長野線・準急	約30分	富田林西口駅
和歌山 橋本	南海高野線	急行	約30分	河内長野駅	近鉄長野線・準急	約30分	富田林西口駅

帰りの電車情報

大阪 河内長野	近鉄南大阪線・準急	約40分	大阪南船場駅
大阪 河内長野	南海高野線・急行	約30分	なんば駅
和歌山 河内長野	南海高野線・急行	約20分	橋本駅

